沖縄県立離島児童生徒支援センターの愛称として昨年7月に県民を対象に公募を行い、59通の応募がありました。

厳正なる審査の結果、「群星は多くの星を意味し、県内各離島から集まった生徒が様々な夢や希望を持ち、一人一人が輝く星として、共に過ごし切磋琢磨しながら成長する。」という愛称に込めた思いも参考にして渡嘉敷中学校生徒会が応募した「群星寮」に決定しました。

　看板制作にあたっては、伊江島の伊江書道クラブの内間さん、崎浜さんの作品を採択しました。

素材については西表島の西表木工組合より県木である琉球松の一枚板を寄贈いただきました。

看板の制作及び取付は障害者就労支援事業所ワークサポートひかりさんにご協力頂きました。

本島周辺、北部、先島の各離島の力にバリヤフリー社会の精神を合わせた看板となっております。